

小平市ごみ組成分析調査報告書（抜粋）

第1章 調査概要

1 調査目的

本調査の目的は、家庭から排出される燃えるごみ、燃えないごみについて組成割合を調査し、家庭ごみの性状を把握するとともに、更なるごみ減量とリサイクル推進のための基礎資料とすることである。

2 調査対象地域と調査日程

調査対象集積所を選定するため、クラスター分析により地域を4地域に分類した。クラスター分析に使用したパラメータは、①戸建住宅の人口割合、②1・2階建集合住宅の人口割合（長屋建を含む）、③3～5階建集合住宅の人口割合、④6階建以上集合住宅の人口割合である。

※クラスター分析とは、分類しようとする対象について、互いに似た特性のものを集めて「かたまり」に分ける統計的な手法であり、本調査では、分類の対象となる小平市の町丁を、住居形態という特性で4つの「かたまり」に分類した。

表1-1 クラスター分析結果

クラスター番号	戸建	集合住宅			地域説明	選定方針
		1・2階建(注)	3～5階建	6階以上建		
1	70.9%	14.1%	13.7%	1.3%	戸建中心の地域	戸建住宅から選定
2	43.2%	12.1%	32.3%	12.3%	小平市の平均的な住居形態分布に近い地域	1・2階建集合住宅が多い地域から選定
3	0.0%	0.3%	99.7%	0.0%	3～5階建集合住宅中心の地域	3～5階建集合住宅から選定
4	9.8%	4.6%	31.8%	53.8%	6階以上建集合住宅中心の地域	6階以上建集合住宅から選定
市の平均	50.5%	12.6%	24.7%	12.2%		

(注)1・2階建集合住宅には長屋建を含む。

東地区と西地区からそれぞれのクラスター番号に該当する地域を1地域ずつ、合計8地域を抽出した。なお、平成25年度に実施した調査（以下、「前回調査」という）と比較するため、原則として同じ集積所からサンプルを収集した。

表1-2 調査対象地域

地区	クラスター番号	対象地域	地域の特徴	集積所選定方針
東地区	1	学園東町3丁目	戸建	戸建
	2	喜平町1丁目	様々な住居形態が混在	賃貸住宅
	3	喜平町3丁目	3～5階建集合住宅	都営住宅等
	4	美園町1丁目	6階以上建集合住宅	分譲住宅
西地区	1	上水新町3丁目	戸建	戸建
	2	小川町2丁目	様々な住居形態が混在	賃貸住宅
	3	小川西町2丁目	3～5階建集合住宅	都営住宅等
	4	小川東町3丁目	6階以上建集合住宅	給与住宅

表1-3 調査日程と天候

月日	曜日	ごみ種	地区	天候(正午現在)
6月9日	火曜日	燃えるごみ	西地区	曇(21℃)
6月10日	水曜日	燃えないごみ	西地区	晴れ(26℃)
6月11日	木曜日	燃えるごみ	東地区	曇(27℃)
6月12日	金曜日	燃えないごみ	東地区	曇(22℃)

3 調査方法

ごみ集積所から収集したごみを小平市清掃事務所に搬入し、表1-3に示す40種類に分類し、それぞれの重量を測定した。

4 調査したごみ量

燃えるごみ857.83kg、燃えないごみ348.80kg、合計1,206.63kgを調査した。

表1-4 調査したごみ量

単位(kg)

対象地域	ごみ量	
	燃えるごみ	燃えないごみ
学園東町3丁目	79.03	38.52
上水新町3丁目	163.29	52.87
喜平町1丁目	80.40	41.75
小川町2丁目	109.81	37.91
喜平町3丁目	129.07	34.60
小川西町2丁目	108.48	40.71
美園町1丁目	66.17	58.00
小川東町3丁目	121.58	44.44
合計	857.83	348.80

5 組成調査の分類と定義

燃えるごみ、燃えないごみを、可燃性資源(7品目)、不燃性資源(8品目)、有害性資源(3品目)、その他資源(4品目)、可燃物(7品目)、不燃物(9品目)、収集不適物(1品目)、外袋・内袋(3品目)、合計42品目に分類した。

外袋とはごみを排出するために使用した袋、内袋とは外袋の中に入った小口まとめ用のレジ袋である。

表1-5 組成調査の分類

大分類	品目	注意点・含むもの	含まないもの
可燃性資源	1 新聞紙・折込広告	他用途に使ってない新聞紙・折込広告	生ごみを包むなどしたも→その他紙類
	2 雑誌・書籍	パンフレット、カタログ（４P以上のもの）	
	3 段ボール	ボール紙製の緩衝芯のあるもの	ボール紙→雑紙 宅配ピザなど汚れているもの→その他紙類
	4 雑紙	名刺以上の大きさの包装紙、紙箱、紙袋、紙容器、投げ込みのチラシ、OA用紙、ノート、ボール紙、封筒（窓付きも可）、はがき、ティッシュの箱、菓子箱、トイレットペーパー・ラップの芯、たばこの箱	コーティング、感熱紙、金・銀紙、カーボン紙、汚れているもの→その他紙類
	5 シュレッダー紙		
	6 古布（古着）・ふとん	衣類、革製の衣類、タオル、ハンカチ、シート、毛布、カーテン、布団（綿・羊毛・羽毛・化繊）	極端に汚れたもの、ウレタンマット、座布団、クッション、ストッキング→その他可燃物
	7 ぬいぐるみ等	ぬいぐるみ、かばん、帽子、ネクタイ、ベルト（リユース可の状態のもの）	壊れているもの、汚れているもの
不燃性資源	8 ガラスびん		
	9 缶類	一斗缶未満の飲料、食用	
	10 ペットボトル	「PET」表示あり、飲料、醤油等のみ	「PET」表示なし、飲料・食用以外→ボトル容器
	11 硬質プラスチック（資源）	シャンプー、洗剤、弁当ガラ、苺のパック、乳酸飲料容器、ヨーグルト、プリン、カップ麺、豆腐容器	
	12 その他の発泡トレイ	色・柄つき	
	13 キャップ類	ペットボトルやインスタントコーヒーのふた	
	14 スプレー缶・ガスカートリッジ缶、ライター	コンロ用ボンベ含む	
15 金属製のなべ・やかん・フライパン	金属製のもの	金属製でないもの（陶器、ガラス等）	
有害性資源	16 蛍光管		
	17 乾電池	すべての乾電池	
	18 水銀体温計（血圧計）・温度計		
その他資源	19 紙パック	500ml以上の牛乳・ジュースの紙パック	500ml未満のアルミ蒸着→その他紙類
	20 紙パック（アルミ付き）	500ml以上	
	21 剪定枝		
	22 白色トレイ	スーパーなどで肉や魚、野菜がのっているトレイ	納豆パック→硬質プラスチック（資源）
可燃物	23 生ごみ（厨芥類）	調理くず、野菜くず、食べ物の残り	
	24 生ごみ（未利用品）	未開封の食品、手つかずの食品	
	25 その他紙類	カップ麺の紙容器・フタ、紙トレイ、紙カップ、200mlなどの四角い紙パック、500ml未満の山型紙パック、酒以外のアルミ蒸着の紙パック、カーボン紙、紙くず、ちり紙、伝票・レシート、カーボン紙	
	26 剪定枝以外の草・木類	木箱、麻ひも、割り箸、竹串、コルク、生花、落ち葉	
	27 レジ袋（未使用）	使われずに捨てられているレジ袋	
不燃物	28 軟質プラスチック	菓子袋、包装袋、ラップ、野菜の袋、ペットボトルのフィルム、果物の緩衝材	
	29 その他可燃物	紙おむつ、タバコの吸殻、油を固めたもの、掃除機のごみ、脱脂綿、ガーゼ、包帯、生理用品、猫砂、湿布、枕、カーテン、足拭きマット、インクリボン・カートリッジ、乾燥剤、薬、クレヨン、湿布薬、キッチンマット、クッション、座布団、こたつ敷き、こたつ掛け、使い捨てカイロ	
	30 チューブ	マヨネーズ、歯磨き粉	
	31 発泡スチロール		
	32 製品プラスチック（プラのみ）	CD、歯ブラシ、ブレンダー、バケツ	
	33 製品プラスチック（複合物）	ビデオテープ	
	34 ゴム・皮革類		革製の衣類→古布（古着）
35 その他金属類			
収集不適物	36 小型家電製品	アイロン、電気炊飯器、ポット、トースターなど最大辺50センチ未満の小型家電	最大辺50センチ以上→粗大ごみ 品目ごとに重量を記録
	37 陶磁器		
	38 その他不燃物	飲用・食用以外のびん（薬や化粧品等）、びん以外のガラス、電球、かさ、複合物	
	39 収集不適物	石、れんが、土、ブロック	
外袋・内袋	40 レジ袋（内袋）	外袋の中に入った小口まとめ用のレジ袋	
	41 プラスチック袋		
	42 レジ袋		

第2章 調査結果

1 燃えるごみ

燃えるごみでは、可燃物が86.4%、外袋・内袋が1.0%で、分別が適正なものは合計で87.5%である。

一方、可燃性資源が8.6%、不燃性資源が1.9%、その他資源が0.6%、不燃物が1.5%で、分別が不適正なものは合計で12.5%である。

可燃物の内訳は、生ごみ(厨芥類)が51.9%で最も多く、次いで、その他可燃物が11.4%、その他紙類が9.1%、軟質プラスチックが6.8%、生ごみ(未利用品)が3.5%、剪定枝以外の木・草類が3.4%、レジ袋(未使用)が0.2%の順である。

図2-1 燃えるごみの組成割合

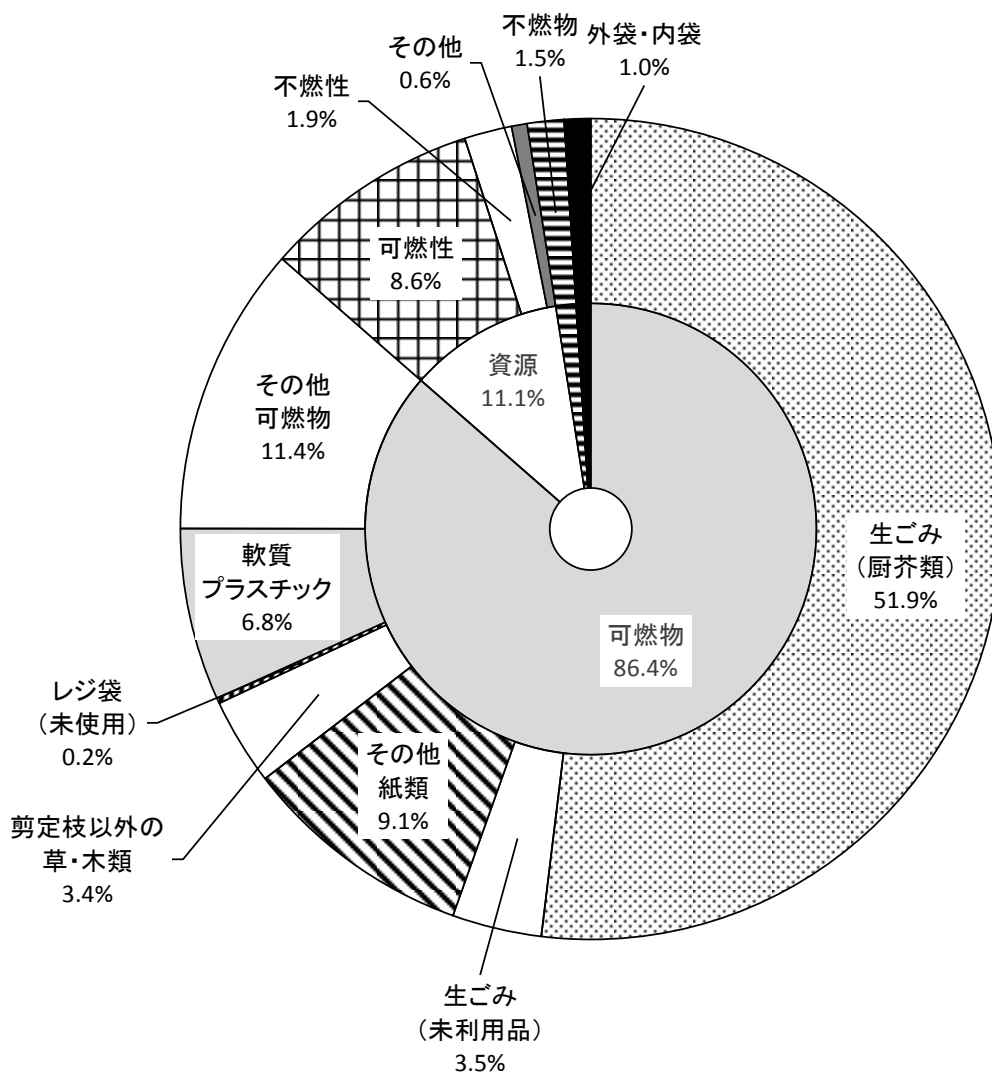


表2-1 燃えるごみの組成割合(加重平均)

住居形態		戸建	集合住宅				加重平均 割合
			賃貸	都営等	分譲	社宅	
割合		50.0%	25.6%	9.9%	9.8%	4.8%	100.0%
可燃性資源	新聞紙・折込広告	0.4%	0.5%	0.1%	0.0%	0.4%	0.3%
	雑誌・書籍	0.1%	2.3%	0.6%	0.5%	1.6%	0.8%
	段ボール	0.1%	0.4%	0.2%	0.3%	0.6%	0.2%
	雑紙	4.2%	9.3%	6.4%	5.7%	9.8%	6.1%
	シュレッダー紙	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	古布(古着)・ふとん	1.0%	0.8%	1.4%	0.9%	2.4%	1.0%
	ぬいぐるみ等	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
不燃性資源	ガラスびん	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	缶類	0.1%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
	ペットボトル	0.1%	0.4%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%
	硬質プラスチック(資源)	0.4%	3.3%	0.9%	3.0%	1.9%	1.5%
	その他の発泡トレイ	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	キャップ類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	スプレー缶・ガスカートリッジ缶、ライター	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	金属製のなべ・やかん・フライパン	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
有害性資源	蛍光管	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	乾電池	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	水銀体温計(血圧計)・温度計	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他資源	紙パック	0.3%	0.8%	0.4%	1.1%	0.6%	0.5%
	紙パック(アルミ付き)	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	剪定枝	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	白色トレイ	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%
可燃物	生ごみ(厨芥類)	57.1%	45.6%	51.9%	46.4%	42.4%	51.9%
	生ごみ(未利用品)	2.8%	5.6%	2.3%	2.9%	3.9%	3.5%
	その他紙類	7.8%	9.0%	10.7%	15.9%	6.7%	9.1%
	剪定枝以外の草・木類	6.0%	0.6%	2.0%	0.4%	0.9%	3.4%
	レジ袋(未使用)	0.2%	0.4%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%
	軟質プラスチック	5.5%	7.5%	6.7%	11.7%	6.4%	6.8%
	その他可燃物	11.8%	9.4%	13.2%	8.8%	20.1%	11.4%
不燃物	チューブ	0.0%	0.1%	0.0%	0.2%	0.1%	0.1%
	発泡スチロール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	製品プラスチック(プラのみ)	0.2%	0.8%	1.7%	0.8%	0.6%	0.5%
	製品プラスチック(複合物)	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
	ゴム・皮革類	0.7%	0.8%	0.4%	0.1%	0.0%	0.6%
	その他金属類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%
	小型家電製品	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%
	陶磁器	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他不燃物	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%
収集不適物	収集不適物	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
外袋・内袋	レジ袋(内袋)	0.5%	0.5%	0.4%	0.4%	0.5%	0.5%
	プラスチック袋	0.2%	0.5%	0.1%	0.4%	0.4%	0.3%
	レジ袋	0.3%	0.3%	0.2%	0.4%	0.2%	0.3%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
可燃性資源		5.8%	13.3%	8.9%	7.3%	14.8%	8.6%
不燃性資源		0.6%	4.2%	1.0%	3.0%	2.1%	1.9%
有害性資源		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他資源		0.4%	0.9%	0.4%	1.2%	0.7%	0.6%
可燃物		91.3%	78.1%	86.9%	86.2%	80.4%	86.4%
不燃物		1.0%	2.3%	2.1%	1.1%	0.9%	1.5%
収集不適物		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
外袋・内袋		0.9%	1.2%	0.7%	1.2%	1.2%	1.0%

2 燃えないごみ

燃えないごみでは、不燃物が66.5%、外袋・内袋が1.6%で、分別が適正なものは合計で68.1%である。

一方、可燃性資源が0.9%、不燃性資源が20.3%、有害性資源が0.1%、その他資源が0.2%、可燃物が10.3%で、分別が不適正なものは合計で31.9%である。不燃性資源のうち13.8%は硬質プラスチックである。

不燃物の内訳は、製品プラスチック(プラのみ)が24.1%で最も多く、次いで、ゴム・皮革類が13.0%、その他不燃物が7.1%、その他金属類が5.9%、小型家電製品が5.4%、陶磁器が4.3%、製品プラスチック(複合物)が4.0%などの順である。

図2-2 燃えないごみの組成割合

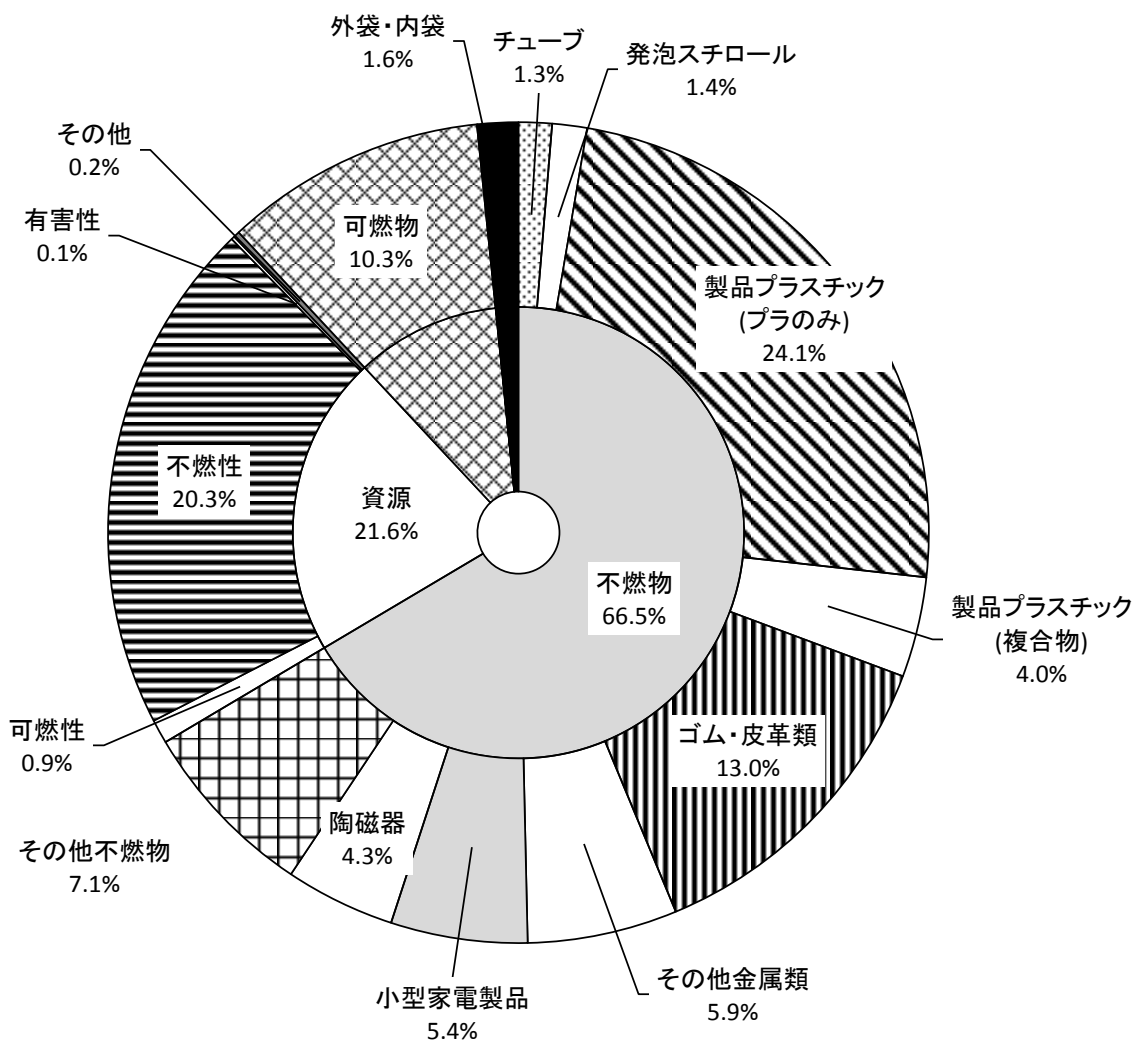


表2-6 燃えないごみの組成重量(加重平均)

住居形態		戸建	集合住宅				加重平均 割合
			賃貸	都営等	分譲	社宅	
割合		50.0%	25.6%	9.9%	9.8%	4.8%	100.0%
可燃性資源	新聞紙・折込広告	0.1%	0.0%	0.0%	0.6%	0.1%	0.1%
	雑誌・書籍	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	段ボール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雑紙	0.2%	0.3%	0.3%	0.5%	0.0%	0.2%
	シュレッダー紙	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	古布(古着)・ふとん	0.8%	0.1%	0.0%	1.5%	0.0%	0.6%
	ぬいぐるみ等	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不燃性資源	ガラスびん	1.2%	3.6%	2.7%	2.9%	0.5%	2.1%
	缶類	1.6%	1.2%	0.9%	2.2%	0.6%	1.4%
	ペットボトル	0.8%	0.8%	0.9%	0.9%	0.0%	0.8%
	硬質プラスチック(資源)	12.9%	16.3%	18.7%	10.3%	5.5%	13.8%
	その他の発泡トレイ	0.1%	0.5%	0.4%	0.3%	0.0%	0.3%
	キャップ類	0.5%	0.4%	0.4%	0.2%	0.2%	0.4%
	スプレー缶・ガスカートリッジ缶、ライター	0.1%	0.4%	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%
金属製のなべ・やかん・フライパン	0.9%	2.3%	0.0%	2.9%	0.0%	1.3%	
有害性資源	蛍光管	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	乾電池	0.1%	0.2%	0.0%	0.6%	0.0%	0.1%
	水銀体温計(血圧計)・温度計	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他資源	紙パック	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	紙パック(アルミ付き)	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%
	剪定枝	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	白色トレイ	0.2%	0.3%	0.3%	0.2%	0.0%	0.2%
可燃物	生ごみ(厨芥類)	1.0%	0.5%	0.5%	0.9%	0.0%	0.7%
	生ごみ(未利用品)	1.0%	0.1%	0.0%	0.2%	0.0%	0.5%
	その他紙類	0.5%	0.8%	0.6%	0.9%	0.0%	0.6%
	剪定枝以外の草・木類	0.3%	0.7%	0.8%	0.2%	2.4%	0.5%
	レジ袋(未使用)	0.4%	0.3%	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%
	軟質プラスチック	6.7%	6.9%	4.0%	3.8%	0.9%	5.9%
	その他可燃物	2.7%	1.2%	0.4%	1.1%	0.1%	1.8%
不燃物	チューブ	1.5%	1.5%	1.0%	0.3%	0.9%	1.3%
	発泡スチロール	1.6%	1.0%	1.9%	0.7%	1.1%	1.4%
	製品プラスチック(プラのみ)	27.8%	16.8%	29.3%	18.1%	25.1%	24.1%
	製品プラスチック(複合物)	3.3%	2.4%	2.9%	7.8%	13.3%	4.0%
	ゴム・皮革類	13.5%	9.1%	13.0%	17.1%	21.3%	13.0%
	その他金属類	6.6%	3.2%	9.6%	8.1%	0.8%	5.9%
	小型家電製品	2.3%	10.5%	3.5%	4.1%	16.7%	5.4%
	陶磁器	3.5%	8.6%	0.7%	0.8%	4.4%	4.3%
その他不燃物	6.3%	8.6%	5.3%	10.5%	4.7%	7.1%	
収集不適物	収集不適物	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%
外袋・内袋	レジ袋(内袋)	0.5%	0.4%	0.5%	0.4%	0.2%	0.5%
	プラスチック袋	0.7%	0.5%	0.7%	0.4%	0.3%	0.6%
	レジ袋	0.5%	0.4%	0.7%	1.0%	0.3%	0.5%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
可燃性資源		1.0%	0.6%	0.3%	2.6%	0.1%	0.9%
不燃性資源		18.2%	25.5%	24.0%	19.6%	7.1%	20.3%
有害性資源		0.1%	0.2%	0.0%	0.6%	0.0%	0.1%
その他資源		0.2%	0.3%	0.3%	0.5%	0.0%	0.2%
可燃物		12.4%	10.3%	6.5%	7.1%	3.5%	10.3%
不燃物		66.5%	61.8%	67.0%	67.5%	88.4%	66.5%
収集不適物		0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%
外袋・内袋		1.7%	1.3%	1.8%	1.8%	0.8%	1.6%

第3章 前回調査との比較

小平市では、平成25年度に今回と同様の調査を行っているため、平成25年度調査(以下、「前回調査」という)との比較を行う。なお、今回調査は、分別区分の変更に伴い「資源」の定義を次のように変更した。

表3-1 資源の定義の変更

品目	具体的な内容	変更点
ぬいぐるみ等	ぬいぐるみ、かばん、帽子、ネクタイ、ベルト（リユース可の状態のもの）	前は「可燃物」として集計したが、今回は「可燃性資源」として集計した。
スプレー缶・ガスカートリッジ缶、ライター	中身ないスプレー缶・ガスカートリッジ缶、着火しないライター	前は「不燃物」として集計したが、今回は「不燃性資源」として集計した。
金属製のなべ・やかん・フライパン	なべ・やかん・フライパン・おたま・網	前はアルミ製のもののみを対象としたが、今回は金属製のものすべてを対象とした。

1 燃えるごみ

分別が適正なものは、85.7%から87.5%へと1.7ポイント増加し、不適正なものは14.3%から12.5%へと1.7ポイント減少している。

表3-2 燃えるごみの前回調査との比較

		前回(H25)	今回(H27)	増減
分別が適正	可燃物	84.9%	86.4%	1.6ポイント
	外袋・内袋	0.9%	1.0%	0.2ポイント
	小計	85.7%	87.5%	1.7ポイント
分別が不適正	可燃性資源	11.0%	8.6%	-2.4ポイント
	不燃性資源	1.0%	1.9%	0.8ポイント
	有害性資源	0.0%	0.0%	0.0ポイント
	その他資源	0.8%	0.6%	-0.1ポイント
	不燃物	0.6%	1.5%	0.8ポイント
	収集不適物	0.9%	0.0%	-0.9ポイント
	小計	14.3%	12.5%	-1.7ポイント

可燃物のうち、生ごみは42.6%から51.9%へと9.3ポイント増加し、剪定枝以外の木・草類が10.1%から3.4%へと6.6ポイント減少している。今回調査では前回調査と比べて集積所に排出された木・草類が少なかったため、生ごみの割合が相対的に増加し、木・草類の割合が減少している。

表3-3 燃えるごみの可燃物の前回調査との比較

	前回(H25)	今回(H27)	増減
生ごみ(厨芥類)	42.6%	51.9%	9.3ポイント
生ごみ(未利用品)	5.4%	3.5%	-1.9ポイント
その他紙類	7.9%	9.1%	1.2ポイント
剪定枝以外の草・木類	10.1%	3.4%	-6.6ポイント
レジ袋(未使用)	0.1%	0.2%	0.1ポイント
軟質プラスチック	4.2%	6.8%	2.6ポイント
その他可燃物	14.5%	11.4%	-3.0ポイント

2 燃えないごみ

分別が適正なものは、63.2%から68.1%へと4.9ポイント増加し、不適正なものは36.8%から31.9%へと4.9ポイント減少している。

表3-4 燃えないごみの前回調査との比較

		前回(H25)	今回(H27)	増減
分別が適正	不燃物	61.5%	66.5%	4.9ポイント
	外袋・内袋	1.6%	1.6%	-0.1ポイント
	小計	63.2%	68.1%	4.9ポイント
分別が不適正	可燃性資源	0.5%	0.9%	0.4ポイント
	不燃性資源	24.9%	20.3%	-4.6ポイント
	有害性資源	0.1%	0.1%	0.0ポイント
	その他資源	0.5%	0.2%	-0.3ポイント
	可燃物	10.6%	10.3%	-0.3ポイント
	収集不適物	0.2%	0.0%	-0.2ポイント
	小計	36.8%	31.9%	-4.9ポイント

第6章 考察

分別が適正なものが増加している。

前回調査と比較して、分別が適正なものの割合は、燃えるごみは85.7%から87.5%へと1.7ポイント、燃えないごみは63.2%から68.1%へと4.9ポイント増加しており、分別が適正なものが増加している。

燃えるごみに含まれる雑がみのリサイクルが課題である。

燃えるごみには、可燃性資源が8.6%含まれており、雑紙が6.1%である。雑紙は、リサイクルができるかどうかはわかりにくいため、普及啓発や排出方法の工夫が必要である。

燃えないごみに含まれる容器包装プラスチックの適正分別が課題である。

燃えないごみには、可燃物が10.3%含まれており、軟質プラスチックが5.9%である。また、不燃性資源が20.3%含まれており、硬質プラスチック（資源）が13.8%である。軟質プラスチックは燃えるごみに、硬質プラスチックは資源として排出するよう普及啓発が必要である。

資源回収対象の小型家電の回収率を高める必要がある。

小型家電の61%は資源回収対象品目である。小型家電についてはボックス回収やイベント回収等を行っているが、出し方の利便性を高める工夫や普及啓発が必要である。

未利用食品の発生抑制が課題である。

燃えるごみには、未利用食品が3.5%含まれており、廃棄されたものの大半は消費期限・賞味期限切れのものである。未利用食品がごみとして排出されないよう、食品が余らないような計画的な買い物や、消費期限・賞味期限についての正しい理解が深まるような普及啓発が必要である。